

293rd IBB Seminar

ビタミンD受容体を標的とした ボルト-ナット型リガンド開発

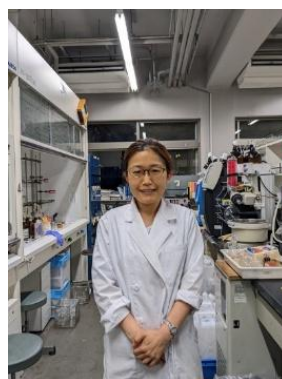
講師：大橋 南美 講師

昭和薬科大学

医薬分子化学研究室

日時：2026年3月14日(土)13:00~14:10

会場：東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所
第二会議室 22号館（1階）



Abstract: 核内受容体の1種であるビタミンD受容体はリガンド依存的転写因子としてカルシウム濃度調節や細胞増殖・分化の制御に関与することから、ビタミンD製剤は骨粗鬆症や乾癬の治療薬として利用されてきた。これまで、ビタミンD誘導体化は高活性を志向して行われてきたが、特に高カルシウム血症が問題となっている。そのため、受容体の作用を選択的・制御的に発揮させるリガンドの開発が求められている。本セミナーでは、高活性に伴う副作用を回避しつつ作用を維持するため、適度な活性の持続を目指し、結合様式を機械的に安定化させるボルト-ナット型ビタミンD受容体リガンドの開発について紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村